

取扱説明

(取扱説明書抜粋)

各部のなまえとはたらき

リモコン(別売品)

- このリモコン1台で、エアコン本体を最大8台まで運転することができます。
- 一度運転内容を設定すると、その後は運転/停止キーを押すだけでご使用になれます。
- リモコンを複数使用する場合、子リモコンでのタイマー操作はできません。

オートフラップボタン

- ユニット選択** 接続ユニットが複数の場合の風向調節時にユニットを選択します。
- 吹出口選択** 吹出口が4方向、または4方向のいずれかを選べます。
- 風向設定** フラップの角度を変更させます。
- スイング** フラップが上下に自動的に動きます。

確認/変更ボタン

ボタンを押すと、切時刻、入時刻、現在時刻、通常表示の順序で表示が変わります。

時刻設定ボタン

温度センサー(内部)

通常は本体の温度センサーが温度を感知していますが、リモコン周辺の温度を感知させることもできます。

左上の点は天井/パネルのマークの位置を示し、そこを基点に右まわりで吹出口の方向を表示します。

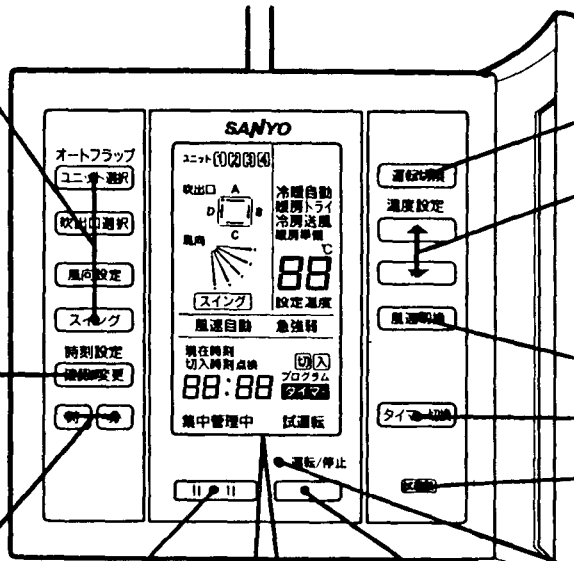
フラップの位置を表示します。

フラップが上下動作中に表示します。

風速自動、風速 急、風速 強、風速弱のいずれかを表示します。

異常時に表示します。(保護装置動作時および異常時)

遠隔運転時に表示します。



運転切換ボタン

温度設定ボタン

- ▲ 設定温度を1℃ずつ上げます。
- ▼ 設定温度を1℃ずつ下げます。

風速切換ボタン

タイマー切換ボタン

試運転ボタン

※通常は使用しないでください。

運転ランプ

異常時、保護装置動作中は点滅します。

運転/停止キー

接続台数を自動的に読んで、その台数を表示します。(フレキシブルコンビネーション)

冷暖自動、暖房、ドライ、冷房、送風のいずれかを表示します。

表示中は室内送風機が停止、または微風運転になります。

設定温度を表示します。

現在時刻、**切** タイマー時刻、**入** タイマー時刻、プログラムタイマー時刻を表示します。(異常時には警報を表示します)

試運転中に表示します。

- このエアコンは自動機種確認をしています。リモコンの操作は手元電源スイッチを入れて、約10~60秒後に行ってください。

2. リモコンのサービス機能について

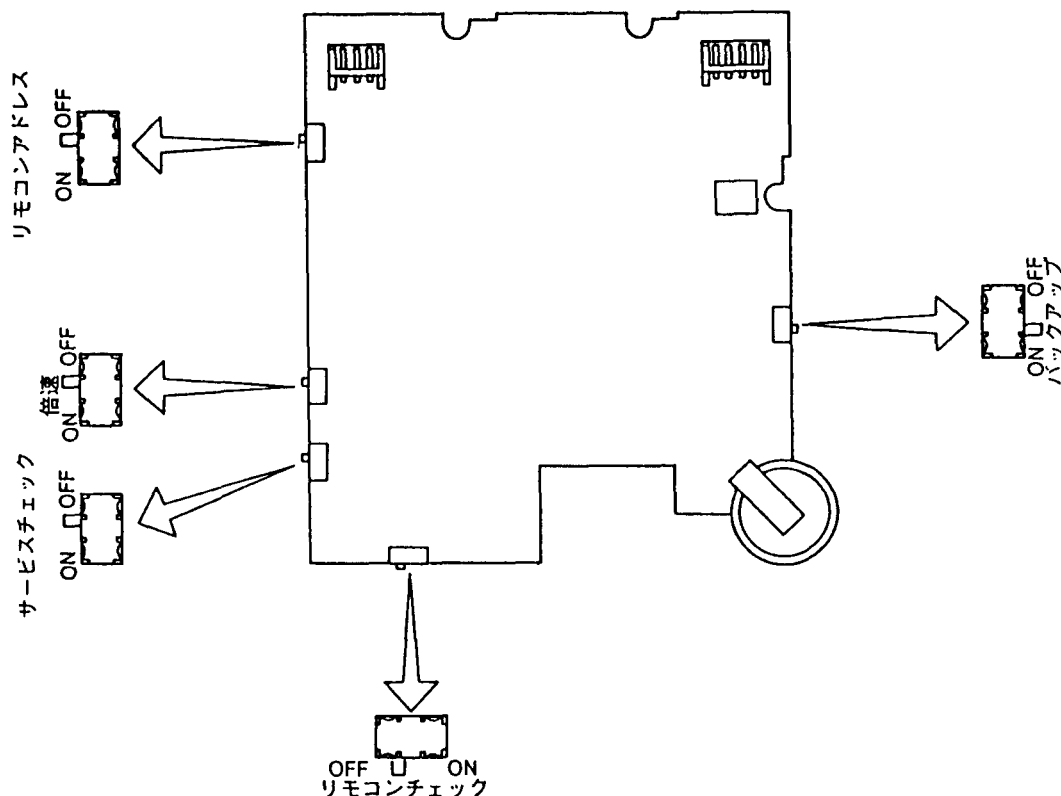
■リモコンには、次のようなサービス機能があります。

試運転時、点検時等、必要に応じてご利用ください。

■サービス機能のスイッチ配置

リモコンの基板裏にある各サービス機能に対応したスイッチをOFF→ONに切り換えることにより機能します。

<基板裏スイッチ配置>



- ・サービスチェック：“サービスチェック表示機能”の項参照
- ・リモコンチェック：“リモコンチェック機能”の項参照
- ・倍速：“タイマー時間の倍速について”の項参照 (P 58)
- ・リモコンアドレス：“リモコンスイッチを複数個設置する場合”の項参照 (P 56)
- ・バックアップ：“停電補償用メモリーバックアップ機能について”の項参照 (P 58)

<ご注意> リモコンに表示される、各アドレス表示体系は“システム制御の設定例”を参照してください。

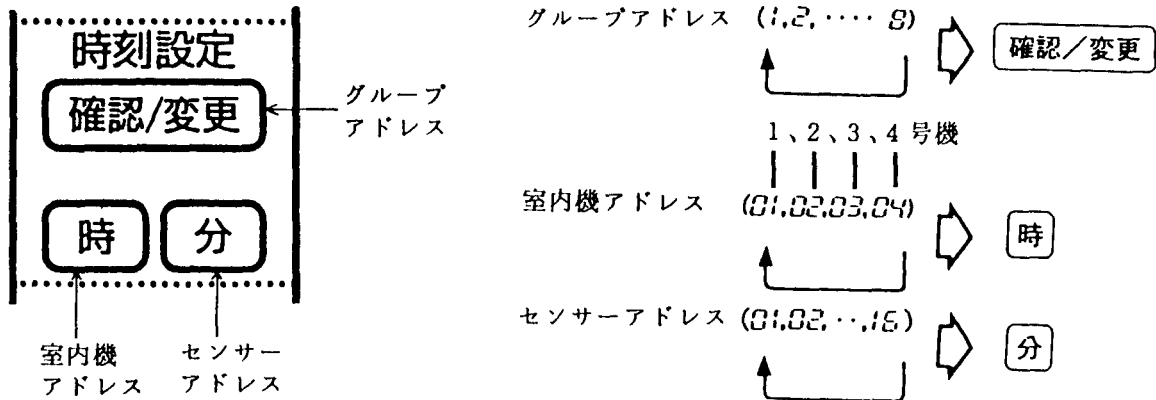
2-1. センサー温度表示機能（運転・停止に関係なく表示します。）

◎リモコン、室内ユニット、室外ユニットに接続されている各センサーの温度をリモコンに表示します。

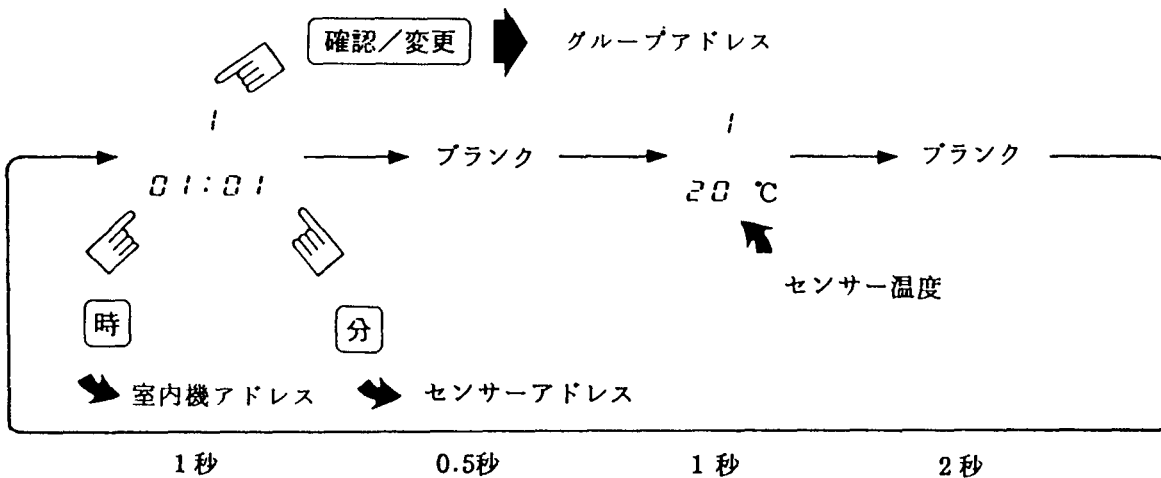
<確認方法の手順>

(1) リモコンの **時**、**分** スイッチを同時に3秒間押しつづけます。

この時点で、**グループアドレス** 1号機、**室内機アドレス** 1号機、**センサーアドレス** 01(室温 ⇒ 選択されている室温センサー)の内容がセットされます。



●表示タイミング



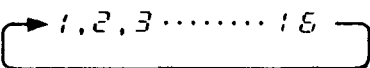
(2) グループ制御、フレキシブルコンビネーション制御時、センサー温度を確認する時は、次の操作にて行ってください。

① グループ制御時

リモコンの **確認/変更** スイッチがグループアドレススイッチとして機能します。

このスイッチを押すごとに **1, 2, 3, …… 8** とグループアドレスを変更します。

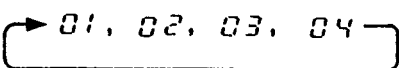
この状態で確認するセンサーアドレスを **分** スイッチにて指定します。

このスイッチを押すごとに  とセンサーアドレスを変更します。

(センサーアドレスとセンサーの種類の間連については下記センサー温度対照表を参照してください。)

② フレキシブルコンビネーション制御時

リモコンの **時** スイッチが室内機アドレススイッチとして機能します。

このスイッチを押すごとに  と室内機アドレスを変更します。

この状態で、確認するセンサーアドレスをグループ制御時同様、**分** スイッチにて指定します。

③ システム制御時(グループ制御+フレキシブルコンビネーション制御)

確認/変更 スイッチでグループアドレス、**時** スイッチで室内機アドレス、**分** スイッチでセンサーアドレスを組み合わせて、確認するアドレスに設定してください。

<注意>・接続されていないユニットのセンサー温度表示は、“—：—℃”となります。

セ ン サ ー 温 度 対 照 表

センサー取付場所	センサーアドレス	センサーの種類
室内温度センサー	01	室温：本体/リモコン(選択しているセンサー)
	02	室内コイル温度(E1)
	03	室内コイル温度(E2)
	04	未 定
室外温度センサー	05	吐出温度(冷房)
	06	外気温度
	07	室外コイル温度(C1)
	08	室外コイル温度(C2)
	09	吐出温度(暖房)
	10	スクロール保護サーモ
	11	未 定
	12	未 定
	13	未 定
	14	未 定
	15	未 定
	16	未 定

(3) 確認終了時





リモコンの**時**、**分** スイッチを同時に3秒間押しつづける。

2-2. サービスチェック表示機能 (運転・停止に関係なく表示します。)

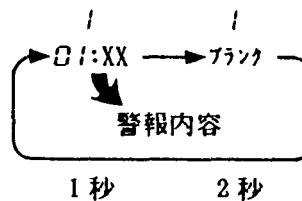
- 過去、運転中に発生した警報内容を発生順に最大4個まで記憶し、リモコンに表示します。
(警報内容の“ [] ”は含みません。)

<確認方法の手順>

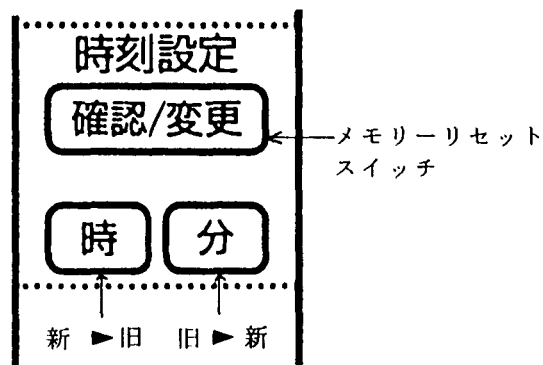
- (1) リモコンの基板裏にある“サービスチェック”スイッチ(SV CHK)をOFF ⇄ ONに切換えます。
(この時点で、最新に発生したグループアドレス、室内機アドレス、警報内容がセットされ、表示されます。)
- (2) 表示方法
 - ・“サービスチェック”スイッチONにて、通常表示画面をサービスチェック画面に切換えます。

通常表示	画面切替 ()	サービスチェックON時
「設定温度 XX℃」		グループアドレス
現在時刻「時」		室内機アドレス
現在時刻「分」		警報内容

・表示タイミング



- (3) リモコン操作面上の **[時]** スイッチで過去発生した警報内容の発生した新しい情報から、古い情報の順番で呼び出し確認できます。一度 **[時]** スイッチで作られた情報を逆に呼び出したい場合には、**[分]** スイッチを使用してください。



- (4) サービスチェック使用時の警報内容リセット方法

確認した警報内容をリセットしたい場合、メモリーリセットスイッチ(“サービスチェック”スイッチ使用時には、“**[確認/変更]**”スイッチがメモリーリセットスイッチとして機能します。)を押してください。
リモコン表示が“—：—”となればリセットされています。

<注意>・警報内容が発生していない時のリモコン表示は“—：—”となります。

- ・サービスチェック中のリモコン表示は、「サービスチェック中」と警報内容を同時に表示します。
- ・同一の警報内容が連続して発生した場合は、新しい警報内容は無効となります。

2-3. リモコンチェック機能

リモコンには自己診断機能があります。

リモコンの基板裏にあるリモコンチェックスイッチ(R CHECK)をOFF→ONに切換えてチェックします。

●シリアル通信チェック

リモコンチェックスイッチOFF→ONで、リモコン自身のシリアル通信の送受信系統のチェックをし、

正常……全ての表示が点灯 } を約10秒間表示し、その後消えます。
異常……全ての表示が点滅 }

●入出力回路チェック

シリアル通信チェック(10秒間)終了後、リモコンの各スイッチを操作した時、液晶表示が対応すればOKです。

●通常運転時は、必ずOFFにしてください。

<ご注意>・リモコンチェック後、通常運転にもどした時は時計はリセットされますので、再度設定してください。
(タイマー時刻設定も含む)

3. 各部品の点検方法

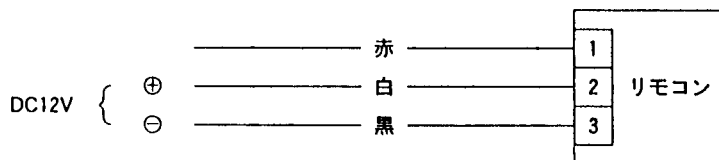
3-1. シリアル通信異常の点検

(1) リモコンと室内ユニットの間の異常の場合

リモコンの自己診断機能にて、まず、リモコンをチェックしてください。(115ページ参照)

リモコンが正常であればリモコンコード(3芯)の1番線(赤色)の断線(接触不良)か、室内コントローラの不良です。

リモコンの自己診断は電源の供給があれば可能ですので、リモコン単品でもできます。












(2) 室内・外ユニット間の異常の場合

室外コントローラの電源は室内から供給されていません。室外の電源回路の異常でもシリアル通信の異常表示になりますので、室外ユニット・5P端子板の電圧をチェックしてください。5P端子板の1-2間の電圧がテスターDC12V付近で針が振れば正常。針が振れなければ、室内・室外間の接続不良です。再度、配線をチェックしてください。

1. ユニット症状と診断箇所

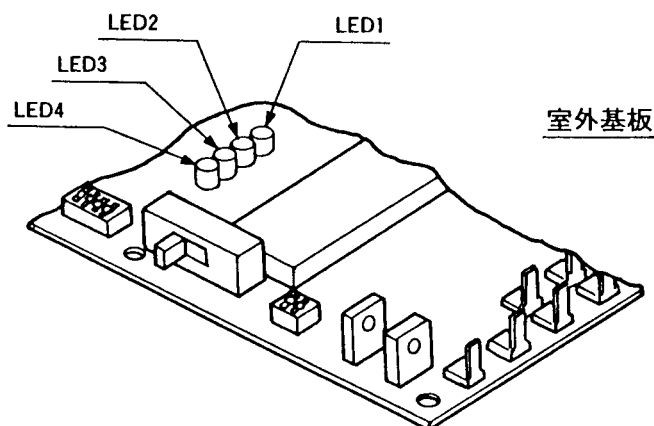
1-1. 警報表示の内容

検 出 内 容		ワイヤード リモコン表示	ワイヤレスリモコン ランプ表示		
シリアル 通信異常・ 誤設定	リモコンが、室内からの信号の異常を検出	シリアル信号の受信不良	E 1	運転ランプの点滅  タイマー ● 暖房準備 ●	
		シリアル信号の送信不良	E 2		
	室内がリモコン(または集中制御)からのシリアル信号の受信不良	E 3			
	室内が室外からの信号の異常を検出	シリアル信号の受信不良	E 4		
		シリアル信号の送信不良	E 5		
	室外が室内からの信号の異常を検出	シリアル信号の受信不良(台数確認不良も含む)	E 6		暖房準備ランプの点滅 ● タイマー ● 暖房準備 
		シリアル信号の送信不良	E 7		
	設定不良	室内親子設定の重複	E 8		
		リモコン親設定の重複	E 9		
保護装置動作	室内保護	送風機保護サーモ フロートスイッチ	P 1	タイマーランプと暖房準備 ランプが交互に点滅 ●  暖房準備 	
	室外保護	送風機保護サーモ 圧縮機保護サーモ	P 2	運転ランプと暖房準備ランプ が交互に点滅  タイマー ● 暖房準備 	
		吐出温度異常	P 3		
		高圧スイッチ	P 4		
		逆相(欠相)検知	P 5		
		能力組み合わせ不良 (室内機アドレス設定の重複も含む)	P 6		
	天井パネル接続不良		P 9		
サーミスタ 異常	サーミスタ オープン・ショート (室内)	室内コイル温度 E 1	F 1	運転ランプとタイマーランプ が交互に点滅  タイマー  暖房準備 ●	
		室内コイル温度 E 2	F 2		
	サーミスタ オープン・ショート (室外)	吐出温度(冷房)	F 4		
		吐出温度(暖房)	F 5		
		室外熱交温度 C 1	F 6		
		室外熱交温度 C 2	F 7		
		外気温度	F 8		
		スクロール保護サーモ	F 9		
保護装置	圧縮機	圧縮機電流値不良(過負荷)	H 1	タイマーランプの点滅 ●  ●	
		圧縮機電流値不良(ロック)	H 2		
		圧縮機電流検出回ロ不良	H 3		
		スクロール保護サーモ	H 4		
		スクロール保護サーモ抜け検出	H 5		
		低圧スイッチ	H 6		
	室内外ユニット間の配線・配管の交差検出		H 7		

室外関連警報表示(LED1~LED4)

LED4	LED3	LED2	LED1	リモコン表示	表示内容
●	●	●	●	—	正常
●	●	●	☀	無	ガス欠検知
●	●	☀	●	E 6	室外シリアル受信不良
●	●	☀	☀	E 7	室外シリアル送信不良
●	☀	●	●	P 2	送風機、圧縮機保護サーモ
●	☀	●	☀	P 3	吐出温度異常
●	☀	☀	●	P 4	高圧スイッチ
●	☀	☀	☀	P 5	逆相検知
☀	●	●	●	P 6	能力組み合わせ不良
☀	●	●	☀	H 1	圧縮機電流値不良検出(過負荷)
☀	●	☀	●	H 2	圧縮機電流値不良検出(ロック)
☀	●	☀	☀	H 3	圧縮機電流検出回路不良
☀	☀	●	●	H 4	スクロール保護サーモ
☀	☀	●	☀	H 5	スクロール保護サーモ抜け検出
☀	☀	☀	●	H 6	低圧スイッチ
☀	☀	☀	☀	F4~F9	センサーオープン・ショート

☀ : LED点灯 ● : LED消灯



ガス欠表示

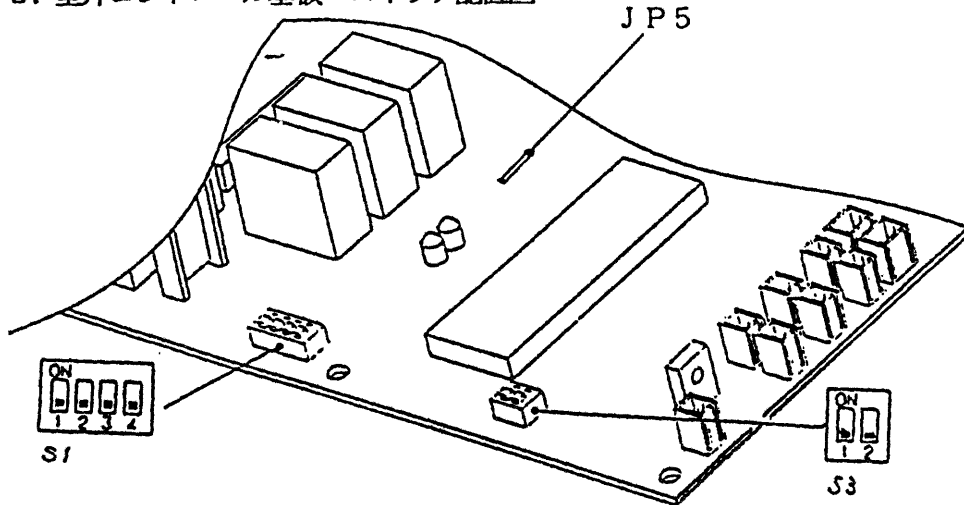
ガス欠検出は室外基板上のLEDのランプ表示により確認できます。
ただし、この制御では警報動作には入らず、通常運転を続けます。

SPW-S形 室外コントロール基板を交換される方へ

1. 供給しました室外コントロール基板は、共通化のため、製品搭載のものとは異なる場合がありますが、デップスイッチ等の設定により代替え使用可能です。供給は以下の通りです。

機種名	製品の基板	供給基板
SPW - CH45 ~ 140S, S2, SD, SD2 SPW - CHJ50 ~ 160S S2, SD, SD2	CR-CH71S (8510517203300) CR-CHJ80S (8540517802500)	SERVICE PARTS 8549953603342
SPW - CH200S 250S SPW - CHJ224S 280S	CR-CH200S (8510517205400) CR-CHJ224S (8540517802600)	(CR-CHJ224S + EWK + NOTES)

2. 室外コントロール基板 スイッチ配置図



*新JIS(SJ形)
対応機種での基板サービス時は、サービス基板に接続されているワイヤーコネクタは、外してご使用ください。

3. デップスイッチ等の設定をしてください。
(交換前の基板と同じ設定が基本ですが、再度ご確認ください)

1) 能力コード設定: S1 (4Pデップスイッチ緑) アンダーバー付き表示能力は旧JIS(S形)

能力	スイッチNo 1 2 3 4	能力	スイッチNo 1 2 3 4	能力	スイッチNo 1 2 3 4	能力	スイッチNo 1 2 3 4
35	■ ■ ■ ■ OFF OFF OFF OFF	50	■ ■ ■ ■ ON OFF OFF OFF	56	■ ■ ■ ■ OFF ON OFF OFF	63	■ ■ ■ ■ ON ON OFF OFF
71	■ ■ ■ ■ OFF OFF ON OFF	80	■ ■ ■ ■ ON OFF ON OFF	90	■ ■ ■ ■ OFF ON ON OFF	100	■ ■ ■ ■ ON ON ON OFF
112	■ ■ ■ ■ OFF OFF OFF ON	125	■ ■ ■ ■ ON OFF OFF ON	140	■ ■ ■ ■ OFF ON OFF ON	160	■ ■ ■ ■ ON ON OFF ON
200	■ ■ ■ ■ OFF OFF ON ON	224	■ ■ ■ ■ ON OFF ON ON	280	■ ■ ■ ■ OFF ON ON ON		

2) 機種コード設定 : S3 (2Pデップスイッチ黒)

機種	スイッチNo 1 2	機種	スイッチNo 1 2
標準・三相 SPW-CH45~250S SPW-CHJ50~280S	■ ■ OFF OFF	とく暖・三相 SPW-CH45~140SD SPW-CHJ50~160SD	■ ■ ON OFF
標準・单相 SPW-CH45~50S2 SPW-CHJ50~56S2	■ ■ OFF ON	とく暖・单相 SPW-CH45~50SD2 SPW-CHJ50~56SD2	■ ■ ON ON

3) 旧JIS(S形)
対応機種でのサービス時は、サービス基板上のジャンパー線(JP5)をカットしてご使用ください。